

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公開番号】特開 2007-271171 (P2007-271171A)  
 【公開日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-040  
 【出願番号】特願 2006-97901 (P2006-97901)  
 【国際特許分類】

**F 2 4 F 13/20 (2006.01)**

**F 2 4 F 13/28 (2006.01)**

【F I】

F 2 4 F 1/00 4 0 1 D

F 2 4 F 1/00 3 7 1 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 3 月 29 日 (2009.3.29)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は 3 本以上の直線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 2】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は曲線と直線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 3】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は 2 つの定点からの距離の和が一定な点の軌跡で囲まれた楕円形状の断面を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 4】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は 1 つ以上の角部と 1 つ以上の曲線で囲まれた形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 5】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は少なくとも 4 つ以上の接点、及び 4 つ以上の円弧で囲まれた形状を有することを特徴

とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 6】

本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が 3 本以上の芯線により挟られた除塵体を有し、前記 3 本以上の芯線の断面は円形状を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のうち、何れかに記載の清掃装置を有する空気調和機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第 1 の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は、3 本以上の直線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

第 2 の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は、曲線と直線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

第 3 の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも 1 本以上の断面は、2 つの定点からの距離の和が一定な点の軌跡で囲まれた楕円形状の断面を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第４の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも１本以上の断面は、１つ以上の角部と１つ以上の曲線で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

第５の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が複数の芯線により挟られた除塵体を有し、前記複数の芯線の少なくとも１本以上の断面は、少なくとも４つ以上の接点、及び４つ以上の円弧で囲まれた形状を有しているため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

第６の発明は、本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に、除塵用のエアフィルターを配置してなる空気調和機において、前記エアフィルターに付着した塵埃の除去手段として、ブラシ片が３本以上の芯線により挟られた除塵体を有し、前記３本以上の芯線の断面は円形状を有するため、腰の強い、全長が長くても撓みの少なく、かつブラシ片の抜けの少ない前記除塵体を有した空気調和機の清掃装置を提供することができる。